

プログラム

プログラム

ライブ配信（1日目）：2021年7月17日（土）

■ 9:00-9:10 開会挨拶

ライブ配信+アーカイブ配信

■ 9:10-10:10 基調講演

ライブ配信+アーカイブ配信

脳科学からみるストレスと心身の不調

座長：佐久間 啓（社会医療法人あさかホスピタル）
演者：三村 将（慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室）

■ 10:25-11:15 20周年記念パネル①

ライブ配信+アーカイブ配信

【鼎談】初代会長に聞くー JSTSS の20年とこれから

演者：飛鳥井 望（公益社団法人被害者支援都民センター、医療法人社団青山会青木病院、公益財団法人東京都医学総合研究所特別客員研究員）
聞き手：加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）
内海 千種（徳島大学大学院 社会産業理工学研究部）

■ 11:15-12:00 20周年記念パネル②

ライブ配信+アーカイブ配信

20周年記念パネルディスカッション JSTSS 会長からのご挨拶 ISTSS 会長からのメッセージ

座長：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
パネリスト：内海 千種（徳島大学大学院 社会産業理工学研究部）
大江美佐里（久留米大学医学部 神経精神医学講座）
指定発言者：金 吉晴（国立精神・神経医療研究センター）

「今後の学会の広がり期待して」

内海 千種（徳島大学大学院 社会産業理工学研究部）

「ISTSS との連携について」

大江美佐里（久留米大学医学部 神経精神医学講座）

■ 12:15-13:15 共催セミナー①

ライブ配信

うつ病治療の最新の話題～トリンテリックスへの期待～

座長：矢部 博興（福島県立医科大学医学部 神経精神医学講座）
演者：井上 猛（東京医科大学 精神医学分野）
企業名：武田薬品工業株 / ルンドベック・ジャパン(株)

本セミナーの視聴ログ（個人情報除く）は企業に提供いたします

■ 13:30-14:30 大会長講演

ライブ配信+アーカイブ配信

震災からの心の復興をめざして
～あさかホスピタルグループにおける地域との歩みから～

座長：笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院）
演者：佐久間 啓（社会医療法人あさかホスピタル）

■ 14:45-17:00 特別シンポジウム

ライブ配信+アーカイブ配信

東日本大震災からの10年とこれから

座長：佐久間 啓（社会医療法人あさかホスピタル）
前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

一歩踏み出せば奇跡は起こる

遠藤 雄幸（福島県川内村長）

東日本大震災から復興状況と町の状況～富岡町～

滝沢 一美（福島県富岡町副町長）

震災後10年を経て遷延する慢性ストレス障害：「故郷を失う」という経験

新村 秀人（前あさかホスピタル医師・東洋英和女学院大学人間科学部）

東日本大震災における支援者支援を通して見えてきたこと

天海 久（あさかストレスケアセンター）

ライブ配信（2日目）：2021年7月18日（日）

■ 9:00-10:30 シンポジウム S-1

ライブ配信+アーカイブ配信

未来に繋がる遠隔心理支援

企画・座長： 竹林 由武（福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座）
シンポジスト： 竹林 由武（福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座）
平泉 拓（宮城大学看護学群）
中村 洸太（日本オンラインカウンセリング協会）

S-1-1 遠隔心理支援のエビデンスと実装科学

竹林 由武（福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座）

S-1-2 ビデオカウンセリングの今と未来

平泉 拓（宮城大学看護学群）

S-1-3 SNS（テキスト）カウンセリングの今と未来

中村 洸太（日本オンラインカウンセリング協会）

■ 10:45-11:45 共催セミナー②

ライブ配信

東日本大震災・原発事故後の PTSD を合併した気分障害の症例について

座長：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
演者：堀 有伸（医療法人社団むすびの会 ほりメンタルクリニック）
企業名：ヴィアトリス製薬(株) / 大日本住友製薬(株)

本セミナーの視聴ログ（個人情報除く）は企業に提供いたします

■ 12:00-13:00 共催セミナー③

ライブ配信

認知行動療法のエッセンスを学ぶ

座長：佐久間 啓（社会医療法人あさかホスピタル）
演者：大野 裕（国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター／
一般社団法人 認知行動療法研修開発センター）
企業名：クオール(株)

本セミナーの視聴ログ（個人情報除く）は企業に提供いたします

■ 13:15-14:15 共催セミナー④

ライブ配信

原因を考慮した不眠症への対処

座長：竹内 賢（公益財団法人 星総合病院 星ヶ丘病院）
演者：村上 忠（医療法人赤城会 三枚橋病院）
企業名：MSD(株)

本セミナーの視聴ログ（個人情報除く）は企業に提供いたします

■ 14:30-16:00 シンポジウム S-2

ライブ配信+アーカイブ配信

COVID-19 について現場とデータが語ること

- 企画：重村 淳（目白大学保健医療学部）
高橋 晶（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター）
座長：重村 淳（目白大学保健医療学部）
内海 千種（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）
シンポジスト：高橋 晶（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター）
小林 智之（福島県立医科大学 医学部災害こころの医学講座）
赤星 昂己（厚生労働省 DMAT 事務局）
重村 淳（目白大学保健医療学部）

S-2-1 COVID-19 に関わるメンタルヘルス全国調査の結果

高橋 晶（筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター）

S-2-2 COVID-19 が勤労者に与える精神的影響： 日本労働組合総連合会福島県連合会の実態調査

小林 智之（福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座）

S-2-3 COVID-19 の集団感染が発生した病院・介護福祉施設で働く職員ケアの重要性と支援の実際

赤星 昂己（国立病院機構本部 DMAT 事務局）

S-2-4 COVID-19 がもたらすメンタルヘルスへの影響：過去の CBRNE 事例との比較検証

重村 淳（目白大学保健医療学部）

■ 16:15-17:45 シンポジウム S-3

ライブ配信+アーカイブ配信

職域におけるトラウマティック・ストレス：支援・受援の双方から見えるもの

- 企画：大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）
座長：大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）
シンポジスト：大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）
佐藤 奏恵（あさかストレスケアセンター）
大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）
指定討論者：岩井 圭司（兵庫教育大学）

S-3-1 災害救援組織における惨事ストレスに対する支援と受援

大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター）

S-3-2 爆発事故における緊急介入の対応から見えてくる支援

佐藤 奏恵（あさかストレスケアセンター）

S-3-3 看護現場におけるトラウマティック・ストレスの影響と対応

大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）

■ 17:45-18:00 閉会挨拶

ライブ配信+アーカイブ配信

オンデマンド配信：2021年7月19日(月)10:00～7月31日(土)23:59

シンポジウム S-4

コロナ禍における医療・介護従事者への心理的支援：現場からの報告

企画：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
座長：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
シンポジスト：柳井 優子（国立がん研究センター中央病院）
秋山 恵子（日本赤十字医療センター メンタルヘルス科）
竹林 唯（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
瀬藤乃理子（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

S-4-1 コロナ禍におけるがん専門病院での医療従事者支援の取り組み

柳井 優子（国立がん研究センター中央病院）

S-4-2 総合病院における職員支援の実践報告 医療現場での職員支援体制

秋山 恵子（日本赤十字社医療センター メンタルヘルス科）

S-4-3 クラスターの発生した医療機関・介護福祉施設に対する外部支援：福島県におけるレスポンス支援の試み

前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

S-4-4 福島県の COVID-19 軽症者宿泊療養施設におけるメンタルヘルス支援

瀬藤乃理子（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

シンポジウム S-5

外傷的な死別・喪失への支援

企画：瀬藤乃理子（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
座長：村上 典子（神戸赤十字病院 心療内科）
白井 明美（国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科）
シンポジスト：中尾 幹子（宝塚大学助産学専攻科、大阪ドゥーラの会）
濱田 裕子（第一薬科大学看護学部、NPO 法人福岡子どもホスピス）
瀬藤乃理子（福島県立医科大学 災害こころの医学講座）

S-5-1 周産期における外傷的喪失とビリーブメントドゥーラケア

中尾 幹子（宝塚大学助産学専攻科、大阪ドゥーラの会）

S-5-2 遺族と子どもとの関係を紡ぐビジュアル・ナラティブとグリーフケア

濱田 裕子（第一薬科大学看護学部、NPO 法人福岡子どもホスピス）

S-5-3 東日本大震災におけるあいまいな喪失：行方不明者家族の支援からの学び

瀬藤乃理子（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

シンポジウム S-6

災害復興支援にコロナ禍はどのような影響を与えたのか

企画：松本 和紀（こころのクリニック OASIS）
福地 成（東北医科薬科大学 精神科学教室）
座長：福地 成（東北医科薬科大学 精神科学教室）
シンポジスト：渡部 裕一（公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター）
米倉 一磨（NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会
相馬広域こころのケアセンターなごみ）
矢田部裕介（医療法人信愛会玉名病院、公益社団法人熊本県精神科協会 熊本こころのケアセンター）
指定討論者：小原 聡子（宮城県精神保健福祉センター）

S-6-1 コロナ禍のサロン活動の再開を通じて、人々の集う場とつながりを再考する

渡部 裕一（公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター）

S-6-2 コロナ禍における孤立と困窮者支援

米倉 一磨（NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会
相馬広域こころのケアセンターなごみ）

S-6-3 災害時メンタルヘルス支援とコロナ禍

—2016年熊本地震と2020年7月豪雨の経験から—

矢田部裕介（医療法人信愛会玉名病院、公益社団法人熊本県精神科協会 熊本こころのケアセンター）

シンポジウム S-7

東日本大震災と地域・コミュニティの回復：次世代に何を伝えるべきか

企画：松本 和紀（こころのクリニック OASIS）
座長：林 みづ穂（仙台市精神保健福祉総合センター）
松本 和紀（こころのクリニック OASIS）
シンポジスト：片柳 光昭（みやぎ心のケアセンター）
草間 太郎（東北大学大学院歯学研究科）
松本 和紀（こころのクリニック OASIS）
指定討論者：加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）

S-7-1 被災地での継続支援の経験から

片柳 光昭（みやぎ心のケアセンター）

S-7-2 仮設住宅入居者の健康問題とその支援、そしてこれからの課題：

宮城県における仮設住宅入居者の健康調査結果から

草間 太郎（東北大学大学院歯学研究科）

S-7-3 “こころのケア”と地域・コミュニティの回復

松本 和紀（こころのクリニック OASIS）

シンポジウム S-8

東日本大震災から 10 年後の子どもたち—被災地でそだつということ

- 企画：八木 淳子（岩手医科大学医学部 神経精神科学講座／附属病院児童精神科）
笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院）
座長：武士 清昭（社会医療法人あさかホスピタル）
笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院）
シンポジスト：榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野／福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室）
武士 清昭（社会医療法人あさかホスピタル）
八木 淳子（岩手医科大学医学部 神経精神科学講座／附属病院児童精神科）
笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院）

S-8-1 みちのく子どもコホートから子どもの発達について

榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野／福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室）

S-8-2 震災後に受診した子ども達

武士 清昭（社会医療法人あさかホスピタル）

S-8-3 被災地に生きる子どもの育ち①（症例）被災当時乳児だった子どもの育ち

八木 淳子（岩手医科大学医学部 神経精神科学講座／附属病院児童精神科）

S-8-4 被災地に生きる子どもの育ち②（症例）被災当時幼児だった子どもの青年期

笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院／社会医療法人 あさかホスピタル）

シンポジウム S-9

災禍におけるいじめ—特殊な状況下でのいじめの構造、スケープゴートが生まれる背景

- 企画：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学附属病院児童精神科）
座長：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学附属病院児童精神科）
榎屋 二郎（東京医科大学病院メンタルヘルス科）
シンポジスト：岩垂 喜貴（医療法人財団青溪会 駒木野病院）
内山登紀夫（大正大学、ふくしま子どもの心のケアセンター、よこはま発達クリニック）
田中 恭子（国立病院機構菊池病院）
指定討論者：田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

S-9-1 コロナ禍でのいじめ

岩垂 喜貴（医療法人財団青溪会 駒木野病院）

S-9-2 東日本大震災後の福島・原発事故の影響下でのいじめ

内山登紀夫（大正大学、ふくしま子どもの心のケアセンター、よこはま発達クリニック）

S-9-3 熊本地震後のいじめ

田中 恭子（国立病院機構菊池病院）

S-9 指定討論 いじめについて

田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

シンポジウム S-10

性暴力被害者のトラウマと刑事司法－刑法改正と精神医学・心理学の関わり－

企画：中島 聡美（武蔵野大学人間科学部人間科学科）
座長：小西 聖子（武蔵野大学人間科学部人間科学科）
シンポジスト：斎藤 梓（目白大学心理学部心理カウンセリング学科）
橋爪 隆（東京大学大学院法学政治学研究科）
佐藤 陽子（北海道大学大学院法学研究科）

S-10-1 性犯罪に関わる刑事法をめぐる議論について被害者支援の立場から考える
斎藤 梓（目白大学心理学部心理カウンセリング学科）

S-10-2 性犯罪処罰をめぐる現状と課題について－法律家の立場から
橋爪 隆（東京大学大学院法学政治学研究科）

S-10-3 性犯罪規定における「被害者の意思」
佐藤 陽子（北海道大学大学院法学研究科）

シンポジウム S-11

疫学・調査研究からみえるもの

企画：大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）
座長：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）
シンポジスト：前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）
大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）
西 大輔（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、
国立精神・神経医療センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部）
伊藤 正哉（国立精神・神経医療研究センター）

S-11-1 原発災害被災者のメンタルヘルス等に対する長期的な community-based approach :
「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
前田 正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

S-11-2 原発事故後の心理的影響：縦断研究のレビューからみえたもの
大江美佐里（久留米大学保健管理センター、久留米大学医学部神経精神医学講座）

S-11-3 交通外傷後の精神健康に関するコホート研究
西 大輔（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、
国立精神・神経医療センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部）

S-11-4 心的外傷後ストレス障害とその関連要因と症状に関する調査
伊藤 正哉（国立精神・神経医療研究センター）

シンポジウム S-12

PTSD の生物学的理解と治療開発

- 座長：喜田 聡 (東京大学大学院農学生命科学研究科・応用生命化学専攻)
金 吉晴 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
- シンポジスト：富田 博秋 (東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、
東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、
東北大学東北メディカル・メガバンク機構)
- 堀 弘明 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部)
喜田 聡 (東京大学大学院農学生命科学研究科・応用生命化学専攻)
金 吉晴 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

S-12-1 災害被災コミュニティにおける心的外傷後ストレス反応からの回復過程に寄与する生物・心理・社会的要因の検証

富田 博秋 (東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、
東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、
東北大学東北メディカル・メガバンク機構)

S-12-2 PTSD の統合的理解を目指した心理学的・生物学的研究

堀 弘明 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部)

S-12-3 動物モデルから理解する心的外傷後ストレス障害とその治療方法

喜田 聡 (東京大学大学院農学生命科学研究科・応用生命化学専攻)

S-12-4 メマンチンによる PTSD 治療効果—オープン試験結果より

金 吉晴 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

シンポジウム S-13

トラウマインフォームドケア～わが国における実践と展開～

- 座長：亀岡 智美 (兵庫県こころのケアセンター)
- シンポジスト：西 大輔 (東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、
国立精神・神経医療センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部)
- 野坂 祐子 (大阪大学大学院人間科学研究科)
大岡 由佳 (武庫川女子大学)
- 指定討論者：竹島 正 (川崎市総合リハビリテーション推進センター)

S-13-1 精神科医療機関における TIC の展開

西 大輔 (東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、
国立精神・神経医療センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部)

S-13-2 児童福祉領域における TIC の実践と課題

野坂 祐子 (大阪大学大学院人間科学研究科)

S-13-3 地域における絵を媒体とした TIC 実践 / 普及啓発の試み

大岡 由佳 (武庫川女子大学)

シンポジウム S-14

トラウマ処理に進むための準備段階—チェックリスト作成の試み—

企画・指定討論者：新谷 宏伸（本庄児玉病院）
座 長：牧野有可里（Serenity Trauma Healing Center）
山本 貢司（田園調布カウンセリングオフィス）
シンポジスト：大塚美菜子（香川大学）
西川 公平（CBT センター）
伊藤 正哉（国立精神・神経医療研究センター）
小林奈穂美（カウンセリングルームさくら）

S-14-1 EMDR（眼球運動による脱感作と再処理法）における準備段階

大塚美菜子（香川大学）

S-14-2 「トラウマ処理移行準備完了状態とは、抑うつや不安がどのような状態か」帰納的推論

西川 公平（CBT センター）

S-14-3 認知処理療法を始めるまでの準備と留意点

伊藤 正哉（国立精神・神経医療研究センター）

S-14-4 「持続エクスポージャー法によるトラウマ処理」に必要な準備条件とは何か？

小林奈穂美（カウンセリングルームさくら）

シンポジウム S-15

エビデンスに基づく PTSD 治療の背景理論と見立て：PE, CPT, EMDR の比較

企 画：菊池安希子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）
伊藤 正哉（国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター）
座 長：中島 聡美（武蔵野大学）
シンポジスト：小西 聖子（武蔵野大学）
高岸百合子（駿河台大学、国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター）
菊池安希子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

S-15-1 PE における治療理論と、治療計画の実際

小西 聖子（武蔵野大学）

S-15-2 認知処理療法における症例概念化と治療プロセスの進め方

高岸百合子（駿河台大学、国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター）

S-15-3 EMDR における適応的情報処理モデルと治療計画

菊池安希子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

シンポジウム S-16

犯罪被害者支援における遠隔心理療法の活用と有用性

- 企画：齋藤 梓（目白大学心理学部心理カウンセリング学科）
座長：岡本かおり（清泉女学院大学人間学部心理コミュニケーション学科、公益社団法人被害者支援都民センター）
シンポジスト：岡本かおり（清泉女学院大学人間学部心理コミュニケーション学科、公益社団法人被害者支援都民センター）
成澤 知美（公益社団法人被害者支援都民センター）
鶴田 信子（公益社団法人被害者支援都民センター）
齋藤 梓（目白大学心理学部心理カウンセリング学科、公益社団法人被害者支援都民センター）

- S-16-1 被害者支援センターにおける遠隔心理療法の導入—準備と体制について—
岡本かおり（清泉女学院大学人間学部心理コミュニケーション学科、公益社団法人被害者支援都民センター）
- S-16-2 遠隔カウンセリングにおける PTSD 症状評価の実践報告
成澤 知美（公益社団法人被害者支援都民センター）
- S-16-3 Zoom を使用した PE 療法と外傷性悲嘆治療プログラムの実践報告
鶴田 信子（公益社団法人被害者支援都民センター）
- S-16-4 Zoom を使用した TF-CBT の実践報告—有用性と工夫について—
齋藤 梓（目白大学心理学部心理カウンセリング学科、公益社団法人被害者支援都民センター）

シンポジウム S-17

ナラティブ・エクスプロージャー・セラピー（NET）の展開に向けて ～その位置づけと可能性～

- 座長：荒川和歌子（南平岸内科クリニック）
岩井 圭司（兵庫教育大学大学院 人間発達教育）
シンポジスト：森 茂起（甲南大学文学部人間科学科）
服部 隆志（大阪府岸和田子ども家庭センター）
指定討論者：牧田 潔（愛知学院大学心身科学部心理学科）
宮地 尚子（一橋大学大学院社会学研究科）

- S-17-1 NET の治療特性～その複合的性質に焦点を当てて～
森 茂起（甲南大学文学部人間科学科）
- S-17-2 虐待を受けた子どもへのナラティブ・エクスプロージャー・セラピー（NET）実践
～子どもが被虐待経験を語ることの意味～
服部 隆志（大阪府岸和田子ども家庭センター）
- S-17 指定討論
牧田 潔（愛知学院大学心身科学部心理学科）
宮地 尚子（一橋大学大学院社会学研究科）

深く静かに潜行するトラウマ

企画：野田 哲朗（兵庫教育大学）
座長：大久保圭策（大久保クリニック）
岩井 圭司（兵庫教育大学）
シンポジスト：谷家 優子（龍谷大学犯罪学研究センター）
蟻塚 亮二（メンタルクリニックなごみ）
野田 哲朗（兵庫教育大学）
指定討論者：岩井 圭司（兵庫教育大学）

- S-18-1 薬物依存症者に潜在するトラウマと依存からの回復について～事例を中心に～
谷家 優子（龍谷大学犯罪学研究センター）
- S-18-2 原発事故避難者のストレスについて
蟻塚 亮二（メンタルクリニックなごみ）
- S-18-3 コロナ禍が学生、勤労者に及ぼすトラウマ
野田 哲朗（兵庫教育大学）
- S-18 指定討論 潜行するトラウマに対応できるインフラ（制度）の必要性
岩井 圭司（兵庫教育大学）

■ポスターセッション

- P-1 福島災害後の心理的苦痛に対する放射線リスク認知、健康不安の関連とマインドフルネスの寄与：パスモデルを用いた横断研究
柏崎 佑哉（福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座）
- P-2 東日本大震災 8 年経過後の飲酒問題の長期経過に関する疫学的検討
森島 遼（東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻、公益財団法人医療科学研究所）
- P-3 災害精神保健福祉活動の多職種連携の実践報告（第 2 報）～ふくしま心のケアセンターの個別支援マニュアルの取り組みから～
山下 和彦（一般社団法人福島県精神保健福祉協会 ふくしま心のケアセンター）
- P-4 回復過程の異なる 2 群におけるレジリエンス要因の時間的变化－陸上自衛隊員を例に－
寺田 孝史（陸上自衛隊小平学校）
- P-5 眼球運動の代わりに両側性の光刺激を用いた一回限りの EMDR セッションの効果 その 5－解離傾向の改善効果－
大浦 真一（東海学院大学、国際心理支援協会）
- P-6 日本の児童相談所職員におけるトラウマ体験への累積暴露と PTSD 症状との関連
片岡真由美（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）
- P-7 医療者の共感特性と心理的反応との関連に関する研究
脇 文子（防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門）
- P-8 保健師の共感性特性と二次的トラウマティックストレスの関係性について
北野 誠人（防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門）
- P-9 著名人の自殺を契機に複雑性 PTSD が明らかとなった一例
小俵 京子（久留米大学医学部神経精神医学講座）
- P-10 解離性体験尺度Ⅱの時間的安定性の検討：オンラインサーベイによる 2017 年と 2021 年の比較
池田 龍也（聖泉大学人間学部、広島文化学園大学看護学部）
- P-12 小児期虐待、主観的社会的地位、特性不安はプレゼンティズムにどのような影響を与えるのか
丹生谷凛太郎（東京医科大学病院メンタルヘルス科）
- P-13 小児期の過保護、特性不安、反芻はプレゼンティズムにどのような影響を与えるのか
嶋崎 彬文（東京医科大学 精神医学分野）
- P-14 演題取り下げ
- P-15 福島原発事故首都圏被害者に持続する甚大な精神的被害－人間科学的実証研究から
辻内 琢也（早稲田大学人間科学学術院、早稲田大学災害復興医療人類学研究所）
- P-16 PTSD 症状を呈する対象者の睡眠習慣と日常生活上の実行機能との関連
桃田 茉莉（兵庫県こころのケアセンター）
- P-17 東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断支援研究（1）：養育者の精神健康は震災後に出生した子どもにどのような影響を与えるのか
福地 成（東北医科薬科大学 精神科学教室、公益財団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター）

- P-18 早期記憶回想法（EMP）のトラウマセラピーへの適用
村上 貢（村上カウンセリングオフィス）
- P-19 感染脆弱性と新型コロナ流行下の不安・負担との関連：コロナ禍における救急隊員のストレス（4）
畑中 美穂（名城大学人間学部）
- P-20 COVID-19 の生活への影響に関する調査研究とゲームの増加が問題となった一症例
石田 哲也（久留米大学医学部神経精神医学講座）
- P-21 東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断支援研究（2）：保護者の精神健康及び子どもの問題行動の個人差の検討―潜在成長曲線モデルを用いて―
千葉 柊作（公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター、東北大学大学院 教育学研究科）
- P-22 出来事に対する終わりの感覚とは何か？プロトタイプ・アプローチを用いた検討
白井真理子（信州大学人文学部）
- P-23 COVID-19 職員サポートチーム活動報告～ 2020 年度を振り返って～
秋庭 篤代（横浜労災病院精神科リエゾンチーム）
- P-24 東日本大震災による原子力災害の避難者・避難経験者のストレスと不安
藤田 浩之（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
- P-25 原子力災害後の福島における乳幼児期の親の育児不安と その後の子どものメンタルヘルスの関連：福島県県民健康調査
水木 理恵（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター）
- P-26 コロナ禍における勤労者のウェルビーイング：基本的心理欲求による調整効果
小林 智之（福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座）
- P-27 福島県県民健康調査：平成 30 年度こころの健康度・生活習慣に関する調査 こころ電話支援
及川 祐一（福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター）
- P-28 災害福祉支援者のリスク管理及び資質に関する縦断的調査：第一報
伊藤 智彦（宮崎大学医学部大学院看護研究科）
- P-29 当院児童精神科部門における性暴力被害児の診療～ 2020 年度の実績から
古橋 功一（独立行政法人国立病院機構東尾張病院児童精神科）